

令和6年度上期 放送番組審議会 議事録

令和6年10月  
土浦ケーブルテレビ株式会社

1. 開催日時 2024年10月22日(火) 11時00分～12時30分

2. 開催場所 マロウド筑波 紅鶴の間

3. 委員出欠

委員総数6名、うち出席5名

【委員氏名】

坂本 榮 NPO法人 Newsつくば  
富田 知伸 土浦市 市長公室 広報広聴課 課長  
大澤 義明 麗澤大学工学部・教授/筑波大学 名誉教授  
田所 榮 茨城県還暦軟式野球連盟 副会長  
塚本 裕 龍ヶ崎商工会 会長、株式会社つかもと 代表取締役

欠席

池田 正 水郷つくば農業協同組合 代表理事組合長

【事業者側出席者氏名】

土浦ケーブルテレビ株式会社

代表取締役社長 海老澤 孝一

取締役 千田 貞文

管理部長 宮本 隆

株式会社ジェイコム千葉

専任部長 橋本 祐一

地域コミュニケーション統括部

統括部長 高橋 正史

広報担当マネージャー 崔 誠愛

茨城担当 増田 光利

茨城担当 石田 有

JCOM株式会社

映像制作第一部リージョナルマネージャー 西井 俊介

4. 放送番組審議会会長・副会長の選任  
坂本委員より会長に立候補、事務局より副会長に富田委員を推薦し承諾いただいた。
5. 概況説明
  - (1) 土浦ケーブルテレビ株式会社概況について
  - (2) 自主制作番組の放送実績について
6. 上期の J:COM チャンネルについての審議  
番組ごとの審議にとらわれず、J:COM チャンネルの番組制作全体についての意見交換を行った  
【凡例】 ○：委員からの発言 ●：事業者からの発言

#### 土浦ケーブルテレビ概況・自主制作番組【チャンネル全般】へのご意見

- ：防犯カメラについて警備保障会社とつながっているか。
- ：つながっていない、あくまで映像をスマホなどで確認するためのサービス。それ故料金は比較的安価。なお、こちらには音声機能あり、スマホから声をかけたりすることができる。
- ：事件が多く個人的にも設置しようか検討している段階である。
- ：土浦警察署と県警に協力を仰ぎ一緒に PR する予定もある。
  
- ：自主番組を YouTube にアップしているのか。
- ：以前から実施しているが今期から本格的に力を入れている。多くの方にコンテンツを楽しんでもらうよう努めている。J:COM チャンネルの認知向上にもつながる。
- ：我々はテキストベースで実施している。トークセッションを YouTube にアップしたが非常に便利。見ている方も多く自社の媒体に限らず多くの方に視聴いただける。
  
- ：土浦市の情報を広報番組で放送いただいている。毎日 4 回、月に 2 回更新。市民からは以前のように毎週新しい情報が欲しいとの声あり。土浦市としても取り組みには課題がある。それだけ市民の方の関心は高いと

感じている。引き続き協力して広報活動を実施していきたい。

- ：内容も踏まえて実施していきたい。
- ：配信といった異なる媒体を利用し、広報番組もいろいろな形式でお届けできればと考えている。また X 等の SNS 活用などデジタル媒体も活用し、市民やそれ以外の方にもコンテンツをお届けする方法は常に課題として考えている。今後もいろいろと連携し更なる PR ができると思う。
  
- ：先ほど会社業績を発表いただいたが、会社に元気がないといろいろな活動もできない。昨年度と比較して増収増益で順調だと感じ安心感がある。今後の活動に期待する。
- ：ジモトトピックスにて、うしくかっぱ祭り取り上げていただいた。我々は毎年その祭りでクリーンキーパーとして活動している。子どもたちもこのイベントにて参加しており、様々な人とコミュニケーションをとることで子どもたちにとっても良い環境づくりができると考えている。こういった活動を取材することで地域・市民・行政の一体感を出すことができる。
- ：かっぱ祭りにて老若男女大勢の方が踊る姿を撮らせていただいた。ご意見いただいたように大人と子供との関係性までうまく取材できていないのが現状なので、貴重な意見であり非常にありがたい。今後の課題とさせていただきます。
  
- ：地元の知人が結構出演している。普段テレビに出る機会などなかなか無く、地元で話題になり活気づいていくよい取り組みだと考えている。昨年度「ジモトに乾杯」という番組に出演したが予想以上に反響が高く驚いた。地元の個人商店の紹介などあればありがたい。恐らく視聴者の年齢層は高めだと考えているが若い層の意見が欲しい。我々も商品開発で若い人の新しい視点の意見を取り入れている。SNS など取り入れるのも非常に有効だと考える。
- ：おっしゃるとおり数年前まで高齢者の方への発信が多かったが、スマホでいろいろと情報を取り入れることができる時代で、徐々にではあるが意識は変わってきている。我々の年代も高めなのでそこは課題だと思っている。
- ：取引のある会社を訪問したら、若いスタッフばかりで社内はフリーデスク、またオフィス内にスターバックスがあるなど、非常に活気がある会社だった。勢いのある会社はそういった自由な環境なのかもしれない。
- ：今年度より流通経済大学とのコラボ番組の放送を始めた。番組内容や制

作も学生が行っており若い人の取り組みも積極的に取り入れている。

- : J:COM 社員だけでなく社外の方々とも共生していく取り組みが今後大切だと考える。
- : ケーブルテレビは強いネットワークがある。それを空き家対策として活用できないか。例えば電力と防犯カメラをセットで提供したらよいのではないか。地域の問題解決にもつながる。また土浦市は昼の時間帯については市外の方が 5 分の 1 いらっしゃるというデータがあり、いろいろな人が流入している。全国と茨城県の中間のコンテンツがあるといいのではないか。私は青森出身だが、地元のニュースも見たいと思う。
- : コミュニティチャンネル 10CH は各地域の情報を全国に発信している。故郷の情報を見ることができ意義はあるのではないかと思う。
- : 土浦の花火大会も 10CH で放送しており全国で視聴することができる。3 大花火大会を見たいというニーズがある。
- : SDGs の観点からみても空き家対策も考えていかなければならないと考える。ちなみに土浦市として空き家対策は何か実施しているか。
- : 直接携わってはいないが、対策課は存在している。全国の地方都市は同様の課題を抱えている。

## 全力茨城！高校野球応援部についてのご意見

現状と課題の説明を実施

- : J:COM の高校野球中継のなかで茨城エリアがもっとも視聴率が高く、高校野球への関心が高いと考えている。
- : 本番組は昨年度より充実していると思う。土浦日大・霞ヶ浦などの強豪校があり、県南エリアについては異常なくらい関心が高い。ニュースつくばでも地域の記事を記載しており、夏の高校野球の時期は視聴動向が常に高い。もっと力を入れ取り組んでほしい。
- : ニュースつくばとコラボして高校野球を盛り上げていけると考える。
- : ニュースつくばのキラーコンテンツとして、高校に密着して取材をしている。試合前のインタビューで Q&A を実施しており、この記事が非常に評判が良い。選手一人ひとり密着し記事にしている。関係性ができており来年度の取材も実施を予定している。取材者が良い記事を書くことで関係性ができ、さらに大きく注目を浴びることになる。そういったコンテンツがあるので、できることがあれば言ってほしい。

- ：私自身高校野球をやっていた。野球中継は見ている。周りも関心が高く会場に直接いけない時は中継を見ており楽しみにしている。J:COMでは高校野球関連はすべて網羅しているのではないか。こういった活動はもっと活発化して行ってほしいが、野球に限らずサッカーなど他のスポーツも取り上げてほしい。
- ：応援団ももちろんだが、保護者の方を取材することは一番のファンであり、そこでのコミュニティで広がることを目的としている。県南エリアだけでなくエリア外でもある県北側にも目を向けていく必要があると考える。
- ：サッカーなどは高校野球と違い関係性が難しい点があるが、J:COMとして携われる部分を探しコンテンツとして届けていきたい。
- ：素晴らしい番組だと思う。NHKは決勝だけの放送。1～4回戦まで放送してもらうのはありがたい。子どもたちは大人と同様、自分の名前がテレビで放送されるのは非常に喜ぶ。様々なかたちで野球を取り上げていただいて非常にありがたいが、先ほども出たように野球以外のスポーツも取り上げてほしい。
- ：部活動移行についてフォーカスを当ててほしい。少子化も進み、学校の統廃合が行われている。J:COMはそこに寄与できると考える。
- ：番組は完成形だと思う。プロモーションついてだが、いただいたクリアファイルを見たところ、手元を取っておこうと思う人が少ないのではないか。例えば大洗町にガールズアンドパンツァーというアニメがあり、町おこしとしても成功している。コラボや目玉になるようなビジュアルにしたほうが保有率もあがるのではないか。野球好きではない層も興味を持つのではないか。
- ：野球好きの方へのターゲットとして、PRについてスコアブックのつけ方などの講習内容も興味でるのではないか。意外と簡単に理解することができ、新たな楽しみ方ができる。

## 7. 閉会（事業者事務局）

本日頂戴した番組に対する貴重なご意見・ご要望を制作現場に申し送り、今後の番組制作に活かしてまいります。